

家電製品協会認定センター(西崎義信センター長)は、春と秋の2回、「家電製品アドバイザー」「家電製品エンジニア」「スマートマスター」の資格認定試験を実施しているが、この3月には第42回試験を実施する。2020年9月試験から採用した、PCを活用して受験者の都合に合わせて受験日時・会場を選択できる「CBT方式」で実施される。

家電製品協会

試験会場は全都道府県の約300カ所、試験期間は3月1日から3月14日の14日間、受験者の都合に合わせて会場と受験日時を選択する。受験申請受付期間は、1月20日の10時から2月10日の24時まで。

資格認定試験 受験申請スタート



西崎義信 認定センター長

会全体のDX化を加速させている。同時に、世界中で打ち出されてきた「スマートマスター」も、スリ、スマートマスター」もさらに注目を集めていくことは確実と思われる。それぞれの資格制度の内容をまとめてみると、次のようになる。

DX時代に躍動できる人材育成を昨今のコロナ禍を契機に、社会が暮らしに関する様々な分野が大きな変化に直面し、それに即応すべく、IoT・AI、ロボット、ビッグデータ、5Gなどの革新的な技術が進化を続け、社

「スマートマスター」の資格は、このように変化に対応しDX時代に躍動できる人材の育成に有効な資格として注目が高まっている。「家電製品アドバイザー」は、家電の販売店などで顧客と接する販

売員に必須ともいえる資格として浸透している。また、16年に導入された「スマートマスター」も、スリ、スマートマスター」もさらに注目を集めていくことは確実と思われる。それぞれの資格制度の内容をまとめてみると、次のようになる。

「家電製品アドバイザー」は、家電製品の基礎知識・最新知識を持ち、消費者に正しい商品選択やエコで安全な使用方法などをアドバイスする能力を認定する販売系の資格。

「スマートマスター」は、住まいの省エネ化、ZEH化のための家の構造・性能、電材・建材リフォーム、エネルギーマネジメント、さらにはIoT、AI、ビッグデータ、ロボットなどの技術を活用して暮らしをスマート化する能力を認定する先進の資格。

「スマートマスター」

また、資格取得者がさらに研鑽を積むために、上級コースも用意されている。

「エグゼクティブ等級」

資格認定試験において、合格基準を超える高得点を取得された方に付与する特別称号(家電製品アドバイザー/同エンジニア資格 限定)

「エグゼクティブ・チャレンジ」すでに資格を保有する方が「エグゼクティブ等級」の取得を目指して受験する制度。

家電製品アドバイザー、同エンジニア試験の受験者に向けた「2022年版参考書 問題と解説」集が21年12月に発刊された。また、スマートマスター試験の学習用テキストも、本年5月に発刊の予定。

「CBT方式」を継続して採用 新型コロナウイルス感染症に対する警戒が続く中、認定センターでは資格認定試験において、受験者の都合に合わせて受験日時・会場を選択できる「CBT方式」を採用している。

維持されている。また、CBT方式では、受験日時や会場などの選択肢が広がり受験機会が拡大した。さらに、ほぼすべてのオペレーションが電子化されることにより、予約していた受験日時・会場はその3日前までなら変更可能になる。それによって、個人のスケジュールに合わせた柔軟な対応が可能になると同時に、体調不良の場合も無理をしないでよいというメリットもある。

CBT方式の特長としては、まず「三密回避」が挙げられる。試験会場は全国に約300カ所に分散して設けられており、室内の換気や消毒・仕替の消費、手指の消毒やマスクの着用などの対策を標準化して、感染症を防止対策を実施している。

3月に実施予定の第42回試験の実施要領は、以下の通り、家電製品協会認定センターのホームページより、インターネットで申請を受け付けている。なお、試験の結果は4月8日にマイページにて発表予定で、合格者は5月1日付で資格が付与される。

2022年3月 第42回 資格認定試験

受験期間 2022年1月20日(木)～2月10日(木)

試験会場 2022年3月1日(火)～3月14日(月)

資格試験の募集要項から

受験者は、パソコンの画面に表示される設問に対しマウス操作によって解答。また、画面上のガイダンスにより、室内は無言状態が付与される。

3月に実施予定の第42回試験の実施要領は、以下の通り、家電製品協会認定センターのホームページより、インターネットで申請を受け付けている。なお、試験の結果は4月8日にマイページにて発表予定で、合格者は5月1日付で資格が付与される。

- ①試験実施期間 2022年 3月1日(火)～3月14日(月)
- ②受験申請受付期間 2022年 1月20日(木)10時～2月10日(木)24時終了
- ③対象の資格認定試験
 - 家電製品アドバイザー、家電製品エンジニア
 - およここれらに関連するエグゼクティブチャレンジ
 - スマートマスター
- ④試験会場 全国のCBT専用試験会場 全都道府県 約300カ所

性・快適性・安全性などを向上させようとしている。このような状況の中で、消費者との接点としてスマートハウス関連の体系的な知識、着目横断的な共通知識を持つ人材が必要となっており、「スマートマスター」もさらに注目を集めていくことは確実と思われる。それぞれの資格制度の内容をまとめてみると、次のようになる。